

完成
目前

『JA新潟厚生連 小千谷総合病院』建設業者に訊く



平成29年4月1日開院予定のJA新潟厚生連小千谷総合病院完成が目前に迫っています。

そこで、同院の建設をおこなっている清水建設の浅井一志工事長と現場監督の大箭芽衣さんにお話を伺いました。

取材対象者プロフィール
清水建設株式会社
浅井一志（あさい ひとし）さん
工事長として新病院建設に従事
清水建設株式会社
大箭芽衣（おおや めい）さん
同社北陸支局で初めての女性技術者で同院が入社後初めての施工

Q. 現在の工事の進捗状況を教えてください。

A. 浅井工事長「10月17日現在、全体の約96%が完成しています。来年1月の建物引き渡しに向けて順調に進んでいます」

Q. 建設に参加した人数を教えてください。

A. 浅井工事長「建物の周りの舗装担当などを含めると延べ8万8千人が建設に携わりました」

Q. 同院建設にあたり気を付けたことや大変だったことを教えてください。

A. 浅井工事長「小千谷が豪雪地帯であることから雪の対策が必要でした。冬になれば室内は温かく、外は寒くなり結露（けつろ）が発生しやすくなり、それがカビの発生に繋がります。結露が発生しにくいように対策し、気を遣いながら施工しました」

大箭さん「現場ではコンクリートの打設（建築の基礎となるコンクリートを、枠の中に流し込むこと）を担当しています。その中で、雪や水が混ざると強度が低下するため、除雪してからの打設となり、大変でした」

大箭さんは12月に、浅井工事長は1月に、それぞれ次の現場等へ向かうことになります。特に、大箭さんにとっては同院が初めての現場となり、思いのこもった施工となったようです。



▲左：浅井工事長 右：大箭現場監督